



甘楽町×ハルビン市 友好交流 30 周年記念 vol.1

甘楽町とハルビン市の友好交流は、2021年8月で30年が経過しました。これを記念して、今月号から5回にわたり友好都市ハルビン市についてご紹介します！

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎ 74-3133

ハルビン市 基本情報

- 位置 中国最北端にある黒龍江省の省都
- 人口 約1,000万人
- 面積 約53,000km²
- 時差 日本より1時間遅い
- 言語 中国語(北京語)
- 特徴 中国北東エリアの政治・経済・科学技術・文化・教育などの中心地



松花江

ハルビン市の人々の母なる川。夏は遊泳、冬は凍結した氷上でスケートなどが楽しみ、氷点下35℃ほどの厳寒の中、寒中水泳大会なども開催される。



聖ソフィア大聖堂

ハルビン市を象徴するロシア建築。現在は教会・聖堂としては使用されず、ハルビン建築芸術館として一般公開されている。



中央大街

道里区の大通りで、全長は1,450mに及ぶ。ロシア風建築や中国式古典建築、西欧建築などが残る景観は「東方のパリ」と称され、多くの人でにぎわう。



太陽島

松花江北岸に浮かぶ有名な避暑地。島には緑が多くロシア風建築が彩りを添えて美しく、レストランや飲み物販売所などの設備も整っている。



杏仁フルーツ

チャーハン

ゴウバオロー
(豚肉の甘酢炒め)

(春雨サラダ)
ジャージャン涼菜

友好記念

ハルビン料理が提供されました

ハルビン市との友好交流を記念して、7月15日の学校給食でハルビン料理が提供されました。

給食を食べた
皆さんの声

ゴウバオローの肉と野菜に味がしっかり絡まっていた

チャーハンに細かくいろいろな具が入っていておいしかった



ジャージャン涼菜つつるだった



「農業・養蜂家、そして、 プロレスラーとして地域貢献を」



妻木洋夫 隊員

昨年9月に協力隊員に着任して約10カ月が経ちました。私は、神奈川県小田原市出身で東京農業大学卒業後にプロレスラーとしてデビューし、着任前までは並行して酪農業に従事していました。

そんな日々の中、第1次産業で独立し生業として生活していきたいと漠然と考えていました。また、自給自足的な暮らし、農的な暮らしにも憧れがありました。その考えは2020年にコロナ禍でプロレスの試合がまったくなくなったことで強くなり、実現に向けていろいろと調べるようになりました。

甘楽町には、以前「稲倉山」に趣味の登山で訪れたことがあり、素敵な地域ということは知っていました。憧れを実現させる候補地の一つであり、農業分野での協力隊の募集を見つけ運命的なものを感じ、すぐに応募しました。

それからトントン拍子に話が進

み、数カ月後には町に移住し今に至っています。

元々、農業分野（野菜作り）で活動をスタートしましたが、自分の要望を取り入れてもらい、農業研修と並行し養蜂家（宇佐美養蜂）の下での研修、鐮川東部森林組合での研修、狩猟免許の取得、有害鳥獣駆除の勉強などを経験してきました。



養蜂家を目指して研修中



「FUMA」として活躍する妻木さん

地域おこし協力隊の任期終了後は、甘楽町で農業、養蜂家として独立、農閑期は自伐型林業で生計を立てることを目標に、現在奮闘中です。

最後に、自分を受け入れてくださった町の皆さんには本当に感謝しています。甘楽町でプロレスの大会を開催して地域活性化に少しでも貢献できたというのも今の目標の一つです。

甘楽町商工会

NEWS

ロシアの侵攻を受けるウクライナを支援するため、甘楽町商工会で募金活動に取り組みました。

3月から5月までの約2カ月間で27万円が集まり、6月15日、商工会から甘楽町社会福祉協議会に寄付金を届けました。

この寄付金は、日本赤十字社を通じてウクライナの人道支援に役立てられます。



左から、小林副会長、牛木社会福祉協議会会長、横山会長、山崎副会長